

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 特 許 公 報(B2)

(11) 特許番号

特許第4085069号
(P4085069)

(45) 発行日 平成20年4月30日(2008.4.30)

(24) 登録日 平成20年2月22日(2008.2.22)

(51) Int.Cl.

F 1

A 4 5 D 34/04 (2006.01)

A 4 5 D 34/04 5 1 5 Z

請求項の数 33 (全 17 頁)

(21) 出願番号	特願2004-47487 (P2004-47487)	(73) 特許権者	592163240
(22) 出願日	平成16年2月24日(2004.2.24)		ロレアル
(65) 公開番号	特開2004-255185 (P2004-255185A)		フランス国、75008・パリ、リュ・ロ
(43) 公開日	平成16年9月16日(2004.9.16)		イアル、14
審査請求日	平成16年2月24日(2004.2.24)	(74) 代理人	100064388
(31) 優先権主張番号	0302253		弁理士 浜野 孝雄
(32) 優先日	平成15年2月24日(2003.2.24)	(74) 代理人	100067965
(33) 優先権主張国	フランス (FR)		弁理士 森田 哲二
		(74) 代理人	100088236
			弁理士 平井 輝一
		(72) 発明者	ジャン＝ルイ デレー
			フランス国 75016 パリ、アヴニユ
			ー レイモン ポアンカレ 27
		審査官	氏原 康宏
			最終頁に続く

(54) 【発明の名称】化粧品のアプリータ及びアプリータ装置

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項 1】

アプリータエレメント（5）を担持し、容器に固定する固定手段を備えたベース部分（10）と、

一定の回転軸線（R）のまわりで回転するようにベース部分に回転可能に装着され、長手方向軸線（Y）を備えたハンドル部分（20）とを有し、

回転軸線（R）及びハンドル部分の長手方向軸線（Y）が相互に垂直ではなく、かつ、相互に平行ではない

ことを特徴とするアプリータ。

10

【請求項 2】

回転軸線（R）及びベース部分の軸線（Z）が相互に垂直ではないことを特徴とする請求項 1 に記載のアプリータ。

【請求項 3】

ベース部分（10）及びハンドル部分（20）が、ベース部分に対して予め画定された少なくとも一つの位置においてハンドル部分をロックできるようにして共動することを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載のアプリータ。

【請求項 4】

ベース部分（10）及びハンドル部分（20）が、ベース部分に対して予め画定された少なくとも二つの位置においてハンドル部分をロックできるようにして共動することを特

20

徴とする請求項 1 ～ 3 のいずれか一項に記載のアプリケーション。

【請求項 5】

ハンドル部分（20）及びベース部分（10）が、ベース部分に対してハンドル部分の予め画定された位置に到達した時にクリック音を発生するように共動することを特徴とする請求項 1 ～ 4 のいずれか一項に記載のアプリケーション。

【請求項 6】

ベース部分（10）が容器（2）の閉じキャップとしても機能することを特徴とする請求項 1 ～ 5 のいずれか一項に記載のアプリケーション。

【請求項 7】

ベース部分（10）が容器（2）の首部（8）に固定するように構成されていることを特徴とする請求項 6 に記載のアプリケーション。

10

【請求項 8】

ベース部分（10）が、スナップ嵌め、ねじ込み及び摩擦嵌めの少なくとも一つによって容器（2）に固定するような形態に構成されていることを特徴とする請求項 7 に記載のアプリケーション。

【請求項 9】

ベース部分（10）及びハンドル部分（20）の少なくとも一方が、外側に、凸状部（10a）をもつ少なくとも一つの部分を備え、それによりすべりを低減していることを特徴とする請求項 1 ～ 8 のいずれか一項に記載のアプリケーション。

【請求項 10】

20

ベース部分（10）及びハンドル部分（20）の少なくとも一方が、少なくとも部分的に、すべらない材料で形成されていることを特徴とする請求項 1 ～ 9 のいずれか一項に記載のアプリケーション。

【請求項 11】

ベース部分（10）及びハンドル部分（20）の少なくとも一方が、少なくとも部分的に、エラストマーで形成されていることを特徴とする請求項 1 ～ 10 のいずれか一項に記載のアプリケーション。

【請求項 12】

ベース部分（10）がベース部分（10）の軸線（Z）に対して傾斜した表面（31）を含み、この表面（31）に対してハンドル部分（20）が支持され、回転軸線（R）が傾斜した表面に対してほぼ垂直にのびていることを特徴とする請求項 1 ～ 11 のいずれか一項に記載のアプリケーション。

30

【請求項 13】

凸状部（37、38；48）をもつ少なくとも一つの部分が、ベース部分（10）とハンドル部分（20）との対向面の少なくとも一方に形成され、ベース部分（10）に対して予め画定した角度位置でハンドル部分（20）を容易にロックできるようにしたことを特徴とする請求項 1 ～ 12 のいずれか一項に記載のアプリケーション。

【請求項 14】

ベース部分（10）及びハンドル部分（20）の少なくとも一方が、ベース部分（10）及びハンドル部分（20）の他方のハウジング内に係合するピン（30；40）を備えていることを特徴とする請求項 1 ～ 13 のいずれか一項に記載のアプリケーション。

40

【請求項 15】

ベース部分（10）がピン（30）を備えていることを特徴とする請求項 14 に記載のアプリケーション。

【請求項 16】

ピン（30）が一端に段部（30a）を備え、ハンドル部分の対応した開口（35）にスナップ嵌めするようにされていることを特徴とする請求項 15 に記載のアプリケーション。

【請求項 17】

ピン（30）が割りピンであることを特徴とする請求項 14 ～ 16 のいずれか一項に記載のアプリケーション。

50

【請求項 18】

ハンドル部分(20)が、ハンドル部分(20)をスナップ嵌めによりベース部分(10)に固定できる挿入体(34)を備えていることを特徴とする請求項1～17のいずれか一項に記載のアプリケーション。

【請求項 19】

ハンドル部分(20)が、ベース部分の対応した開口(42)にスナップ嵌めするように構成されたピン(40)を備えていることを特徴とする請求項14に記載のアプリケーション。

【請求項 20】

ハンドル部分(20)が、フィン(45)とこれらフィン(45)の接続される本体(46)を備え、本体(46)がハウジング(47)を備え、このハウジング(47)内に、ベース部分(10)に固定したことを特徴とする請求項14～17のいずれか一項に記載のアプリケーション。

10

【請求項 21】

ハンドル部分(20)が、一端にリム(39)を備えた円筒状本体を含み、リム(39)には、ベース部分に固定されたピン(30)をスナップ嵌めできることを特徴とする請求項14～17のいずれか一項に記載のアプリケーション。

【請求項 22】

ベース部分及びハンドル部分の少なくとも一方が少なくとも一つのマーカを備え、またベース部分及びハンドル部分の他方が、ベース部分に対するハンドル部分の角度位置を確認できるようにするインデックス(56)を備えていることを特徴とする請求項1～21のいずれか一項に記載のアプリケーション。

20

【請求項 23】

一端でアプリケーションエレメントを担持し、他端をベース部分(10)に固定したステム(4)を含むことを特徴とする請求項1～22のいずれか一項に記載のアプリケーション。

【請求項 24】

アプリケーションエレメントがブラシ(5)であることを特徴とする請求項23に記載のアプリケーション。

【請求項 25】

ブラシ(5)が非直線状コア(6)を備えていることを特徴とする請求項24に記載のアプリケーション。

30

【請求項 26】

アプリケーションエレメントが可撓性端部片、フロック端部片、フォーム又はくしであることを特徴とする請求項1～20のいずれか一項に記載のアプリケーション。

【請求項 27】

アプリケーションエレメント(5)がベース部分(10)に取外し可能に接続されることを特徴とする請求項1～26のいずれか一項に記載のアプリケーション。

【請求項 28】

ベース部分の軸線(Z)とハンドル部分の軸線(Y)との成す角度(β)が最大である時に、アプリケーションエレメント(5)の自由端がハンドル部分(20)と同じ側に位置することを特徴とする請求項1～27のいずれか一項に記載のアプリケーション。

40

【請求項 29】

固定手段が漏れ密封型であることを特徴とする請求項1～28のいずれか一項に記載のアプリケーション。

【請求項 30】

アプリケーションエレメントを担持するベース部分と、
一定の回転軸線のまわりで回転するようにベース部分に回転可能に装着され、長手方向軸線を備えたハンドル部分と、
を有し、
回転軸線及びハンドル部分の長手方向軸線が相互に垂直ではなく、かつ、相互に平行で

50

はなく、

また、アプリケーション要素が、唇、まぶた、まつげ、眉毛、又は髪の毛に製品を塗るような形態に構成されている

ことを特徴とするアプリケーション。

【請求項 3 1】

軸線をもち、アプリケーション要素を担持するベース部分と、

一定の回転軸線のまわりで回転するようにベース部分に回転可能に装着され、長手方向軸線を備えたハンドル部分と

を有し、

回転軸線のまわりでハンドル部分を回転している時のベース部分の軸線とハンドル部分の長手方向軸線との成す角度が正確に 90° 以下であり、かつ、

回転軸線とハンドル部分の長手方向軸線とが平行ではない

ことを特徴とするアプリケーション。

【請求項 3 2】

請求項 1 ～ 3 1 の何れか一項に記載のアプリケーション (3) と、

アプリケーション (3) を取外し可能に固定できる容器 (2) と

を有することを特徴とするアプリケーション装置。

【請求項 3 3】

アプリケーションを取外している間に容器が、アプリケーション要素 (5) を拭くように構成したワイパー部材 (9) を備えていることを特徴とする請求項 3 2 に記載のアプリケーション装置。

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本発明は、化粧品又はケア製品のアプリケーション及びアプリケーション装置に関するものである。

【背景技術】

【0002】

容器とアプリケーションを有し、アプリケーションが、容器に固定するのに適したベース部分をもつ閉じキャップ及び容器の長手方向軸線に対して垂直な回転軸線のまわりでベース部分及び自体の長手方向軸線に対してヒンジされたループを備えた物質を施す装置は従来提案されている (特許文献 1)。

【特許文献 1】 フランス国特許出願 F R 2 7 0 1 1 9 6

【発明の開示】

【発明が解決しようとする課題】

【0003】

構造を比較的単純にしてしかも使い勝手のよい他の装置の出現が要望されている。

【課題を解決するための手段】

【0004】

本発明の一つの特徴において、本発明は、

アプリケーション要素を担持し、容器に固定する固定手段を備えたベース部分と、一定の回転軸線のまわりで回転するようにベース部分に回転可能に装着され、長手方向軸線を備えたハンドル部分と

を有し、

回転軸線及びハンドル部分の長手方向軸線が相互に垂直ではなく、かつ、相互に平行ではない

ことを特徴とするアプリケーションを提供する。

【0005】

一実施の形態では、回転軸線及びハンドル部分の長手方向軸線は平行ではない。従って、長手方向軸線は、例えば、回転軸線に対して斜めにのびることができる。

【0006】

回転軸線及び長手方向軸線は任意に交叉してもよい。

【0007】

ベース部分に対してハンドル部分を回動することにより、使用者はベース部分の軸線とハンドル部分の軸線との成す角度を変えることができる。

【0008】

本発明では、所望の効果に依存して手を種々動かすことにより化粧を行うことができ、又はアプリケーションのアタック角度、特にマスカラブラシのアタック角度を使用中に変えることができる。

【0009】

例として、本発明によればまた、アプリケーションエレメントが円形的に対称でない場合に、同一の手の動きで左目又は右目を化粧することができる。

【0010】

一実施の形態では、ベース部分の軸線は回転軸線に垂直ではない。

【0011】

本発明の一実施の形態では、ベース部分は、容器の閉じキャップとしても機能し得、ベース部分は、例えば、容器の首部にねじ込むことにより首部に固定するように構成される。従って、ベース部分は、容器に固定するための固定手段、例えばねじを備え得る。これらの固定手段は漏れ密封型のものであり得る。

【0012】

ベース部分及びハンドル部分は、有利には、ベース部分に対して少なくとも一つ及び好ましくは少なくとも二つの予め画定した位置にハンドル部分をロックできるように共動し得る。

【0013】

ハンドル部分及びベース部分は、例えば、ベース部分に対してハンドル部分の予め画定した位置に到達した時にクリック音を発生する及び（又は）固いポイントを生じるように共動し得る。

【0014】

ハンドル部分及びベース部分は有利には、例えば親指と人指し指との間にベース部分を挟み、ハンドル部分を手のひらに他の指で保持することにより片手のみでハンドル部分に対してベース部分を回すことができるように構成され得る。

【0015】

ベース部分及びハンドル部分の少なくとも一方は、外側に、凸状部例えば隆起部、突起部、溝又は凹部をもつ少なくとも一つの部分を備えることができ、それによりすべりを低減している。

【0016】

ベース部分及びハンドル部分の少なくとも一方は、少なくとも部分的に良好に把持できる材料特にすべらない材料例えばエラストマーの被覆を備え得るか又はかかる材料で少なくとも部分的に構成され得る。

【0017】

ベース部分はベース部分の軸線に対して傾斜した表面を備えることができ、この表面に対してハンドル部分が支持される。、該表面は実質的に平面であり得、そして回転軸線に対してほぼ垂直にのび得る。

【0018】

ベース部分とハンドル部分との間のヒンジは種々の仕方で達成され得る。

【0019】

ヒンジは、例えば、アプリケーションを使用しながらベース部分に対してハンドル部分の方向が使用者の意図する方向になるように構成され得る。

【0020】

従って、ベース部分とハンドル部分との接触はこの結果を得るのに十分な摩擦で行われ

10

20

30

40

50

得る。

【0021】

変形として及び（又は）付加的に、段部のような凸状の少なくとも一つの部分又は凸状の別の適当な部分は、ベース部分とハンドル部分との対向面の少なくとも一方に形成され得、ベース部分に対して予め画定した角度位置でハンドル部分を容易にロックできるようにし得る。

【0022】

ベース部分及びハンドル部分は種々の仕方で、特にスナップ締め、リベットのよう熱間又は冷間スナップ嵌め、リベット締め、又はクランプ締めによって互いに組立られ得る。

10

【0023】

ベース部分及びハンドル部分の少なくとも一方は、ベース部分及びハンドル部分の他方のハウジング内に係合するピンを備え得る。

【0024】

ピンは、上記ハウジング内にスナップ締め、リベットのようスナップ嵌め、リベット締め、又はクランプ締めされ得る。

【0025】

例として、ベース部分には、上記の傾斜した表面から突出し得る上記のピンが設けられ得る。ピンは、幾つかの部品から成ることができ、そして特に、ピンは任意には割りピンでもよい。ピンは一端に段部を備え、ハンドル部分の対応した開口にスナップ締めするようにされ得る。

20

【0026】

ベース部分にピンを設けた結果、ベース部分は例えば、閉鎖の密封を妥協することなしに又はそのような密封を得る際の煩雑さなしに、容器の閉じキャップとして用いることができる。

【0027】

ハンドル部分は、スナップ締めによりベース部分に固定できる挿入体を備えることができる。挿入体は、ハンドル部分の外面を画定する部片の内側に固定され得、部片には例えばその一端に単一開口が設けられ、この単一開口を介して挿入体が挿置される。

【0028】

30

ハンドル部分にはまた、ベース部分の対応した開口に固定する、特にスナップ締めするようにされたピンが設けられ得る。

【0029】

ハンドル部分には、溝又は凹部が設けられ得る。ハンドル部分には特に、フィン及びフィンの接続される部材が設けられ得、該部材はハウジングを備えることができ、このハウジングに、ベース部分に固定したピンが係合される。

【0030】

本発明の実施の形態では、アプリケータは、一端にアプリケータエレメントを担持し、他端をベース部分に固定したステムを備え得る。ステムの軸線はベース部分の軸線と一致し得る。アプリケータエレメントはステムに取外し可能に固定され得る。

40

【0031】

ベース部分及びハンドル部分の少なくとも一方は、少なくとも一つのマーカー特に目盛りを備え、またベース部分及びハンドル部分の他方は、ベース部分に対するハンドル部分の角度位置を確認できるようにするインデックスを備え得る。

【0032】

本発明の別の特徴によれば、本発明は、
軸線をもちかつアプリケータエレメントを担持するベース部分と；
回転軸線のまわりで回転するようにベース部分に回転可能に装着されたハンドル部分と；
を有し、

50

回転軸線及びベース部分の軸線が相互に垂直ではない
アプリケーションを提供する。

【0033】

本発明の別の特徴によれば、本発明は、
アプリケーションエレメントを担持し、容器に固定するための固定手段を備えたベース部分と；
回転軸線のまわりで回転するようにベース部分に回転可能に装着されたハンドル部分と；
を有する
アプリケーションを提供する。

10

【0034】

本発明の別の特徴によれば、本発明はまた、
アプリケーションエレメントを担持するベース部分と；
一定の回転軸線のまわりで回転するようにベース部分に回転可能に装着され、長手方向軸線をもつハンドル部分と；
を有し、
回転軸線及びベース部分の軸線が相互に垂直ではなく、
アプリケーションエレメントが、唇、まぶた、まつげ、眉毛、又は髪の毛に製品を塗るような形態に構成されている
アプリケーションを提供する。

20

【0035】

本発明の別の特徴によれば、本発明はまた、
軸線もち、アプリケーションエレメントを担持するベース部分と；
一定の回転軸線のまわりで回転するようにベース部分に回転可能に装着され、長手方向軸線をもつハンドル部分と；
を有し、
回転軸線のまわりでハンドル部分を回転している時のベース部分の軸線とハンドル部分の長手方向軸線との成す角度が正確に90°以下であり、かつ、
回転軸船とハンドル部分の長手方向軸線とが平行でない
アプリケーションを提供する。

30

本発明はまた、上記で定義したアプリケーションと、アプリケーションを取外し可能に固定できる容器とを有するアプリケーション装置を提供する。
アプリケーションを取外している間に容器は、アプリケーションエレメントを拭くように構成したワイパー部材を備えることができる。

【0036】

本発明のアプリケーションによれば、拭き性能を低下させることなしに容器の漏れ密封閉じを全く容易に得ることができる。

【0037】

本発明に係るアプリケーション又はアプリケーション装置を用いることにより、顔又は身体の一部、特に唇、まぶた、まつげ、眉毛、又は髪の毛に化粧品を塗る方法が実施可能である。

40

この方法は、
任意の形態のものであり得るアプリケーションエレメントに化粧品を装填し、ハンドル部分の長手方向軸線に対して垂直でない、さらに好ましくは平行でない回転軸線のまわりでハンドル部分に対して回転可能であるベース部分にアプリケーションエレメントを固定する段階と；
二つの異なる適用モード間で、ハンドル部分に対するベース部分の方向を変える段階と；
を含む。

【0038】

ベース部分に固定したステムの端部にアプリケーションエレメントを配置し、そしてケラチ

50

ン状繊維例えばまつげ又は眉毛に物質を塗るようにする際には、本方法は、

ステムを例えば実質的に水平にしてそしてハンドル部分の軸線に対してステムを実質的にゼロである第1の傾きにしてケラチン状繊維に化粧を施すこと；

ステムを例えば実質的に垂直にしてそしてハンドル部分に対してステムを第1の傾きと異なる傾きにして例えばハンドル部分の軸線に対してステムを最大に傾けてケラチン状繊維に化粧を施すこと；

を含み得る。

【0039】

例として、第1の段階中に、ステムをその軸線のまわりで回動させることができ、これは、アプリケーション要素がブラシで構成される場合に有効であり得る。第2の段階では、ステムをその軸線のまわりで回動させずにブラシで化粧は施され得る。

10

【0040】

アプリケーション要素が直線状ではなく、その自由端がステムの軸線に対して一側にオフセットしている際には、ハンドル部分及びベース部分は、ハンドル部分の軸線がステムの軸線と最大角度となる時に、ハンドル部分がアプリケーション要素の自由端と同じ側にのびるように構成され得、これにより使い易くなり得る。

【発明を実施するための最良の形態】

【0041】

本発明は、本発明を限定しない実施の形態についての以下の詳細な説明からより良く理解されよう。

20

【0042】

図1～図4に示す装置1は、長手方向軸線Xをもつ容器2及び容器2に取外し可能に固定できるアプリケーション3を有している。

【0043】

アプリケーション3は、軸線Zをもつベース部分10及び軸線Yをもつハンドル部分20を備えており、ハンドル部分20は、軸線Yとゼロでない角度 α を成す回転軸線Rのまわりでベース部分10に対して回動できる。回転軸線Rはベース部分に対して固定されている。ハンドル部分20が回転軸線Rのまわりを回動している際のベース部分の軸線Zとハンドル部分の軸線Yとの成す角度 β は、厳格には例えば常に90°以下である。容器2は物質例えばマスカラを収容し、その場合、アプリケーションはステム4を備えることができ、ステム4はベース部分10の軸線Zに沿ってのび、そしてステム4の底端部すなわち先端部4aにはブラシ5が設けられている。

30

【0044】

ブラシ5は任意の形式のものでよく、例えば、通常の振った芯6の枝間に剛毛を取付けたものでもよい。

【0045】

例として、ステム4の頂端部すなわち基端部4bは、ベース部分10の内側に配置した挿入体7によって固定されている。

【0046】

考察中の例では、芯6は直線状ではなく、それでブラシ5の先端5aは軸線Zと一直線状ではないが、しかし当然、芯6が直線状であり、図22に示すようにブラシ5の先端5aが軸線Zと一直線上である場合も本発明の範囲内である。

40

【0047】

容器2は、軸線Xの首部8及び外ねじを備えており、エラストマーワイパー部材9が固定され、エラストマーワイパー部材9の一端9aは、ステム4に押圧するように構成した円形開口を画定している。ベース部分10は容器に固定するための固定手段、例えばこの実施の形態では軸線Zの内ねじを備え、それによりベース部分を首部8にねじ係合することができ、軸線X、Zは一致させることができる。図面に見られるように、ワイパー部材9は首部8の頂縁部を覆うことができ、従ってベース部分10を容器2にねじ込んで挿入体7を支持すると、容器に対して密封した閉鎖を得ること駕できるようになる。

50

【0048】

ベース部分は容器上の他の固定手段を備えてもよい。

【0049】

ベース部分は例えば摩擦又はスナップ締めにより容器に固定されるようにしてもよく、この目的のため例えば容器の首部の対応したビードと共動するような形状に構成した溝を備えることができる。固定手段は漏れ密封型であり得る。

【0050】

ベース部分10の外面には例えばセルのような凹凸部分10aを設けて、ベース部分を容易に把持できるようにすることができる。変形例として、ベース部分10には、例えばオーバーモールドによりエラストマー被覆が形成され得る。ベース部分10はまた良好な把持をもたらす材料、特にエラストマーで一体的に形成してもよい。

10

【0051】

図示例では、ベース部分の軸線Zに対するステム4の方向は一定であるが、ステムは、ボール・ソケット継手によってベース部分に対して間接接続してもよい。

【0052】

ベース部分10に対して回転可能にハンドル部分20を取付けることによって、及び回転軸線Rを傾斜させることによって、回転軸線Rのまわりでハンドル部分20を半回転回動させて、ハンドル部分20の長手方向軸線Yが軸線Zと合致する図2に示す位置から、軸線Yが軸線Zと角度 β を成す図3に示す位置へ動かすことができる。

【0053】

20

ハンドル部分20は種々の仕方でベース部分10に取付けることができる。

【0054】

図1～図4に示す例では、取付けは、ベース部分10の傾斜面31から突出したピン30にハンドル部分20を係合させることによって行われる。ハンドル部分は、円形開口33を備えた挿入体34を含むことができ、ピン30はその端部に形成した段部33aによってスナップ締めにより円形開口33内に保持され得る。傾斜面31は回転軸線Rに対して通常垂直にのびている。傾斜面31は、ベース部分10とハンドル部分20との間の接合平面を形成する。

【0055】

軸線Zに対する傾斜面31の傾きは、得ることのできる最大角度 β に影響を及ぼす。

30

【0056】

有利には、ベース部分10には、傾斜面31から突出させてタブ37が設けられ、挿入体の凹凸部分38と共動させて、ハンドル部分が図2及び図3に示す位置の一つにある時にカチッと音をたてるか硬いポイントを形成するようにしている。

【0057】

ピン30は別の仕方で形成することもでき、特に、図5に示す用に軸方向に割ることもできる。

【0058】

図5に見られるように、ハンドル20は軸線Yのまわりで円形の円筒状本体を備えることができ、この本体はその底端部にリム39を備え、このリム39にピン30がスナップ締めされ得る。

40

【0059】

図示したように、円筒状本体の頂端部は閉じ部材によって閉じられ得る。

【0060】

以下、図6～図11を参照してヒンジのさらに別の変形実施の形態について説明する。

【0061】

ハンドル部分20には、図6に示すようにベース部分の対応した開口にスナップ締めするように構成されたピンが設けられ得る。図6に見られるように、ハンドル部分20は、ベース部分10の円形開口42にスナップ締めできる割りピン40を備えることができる。

。

50

【0062】

ハンドル部分20にはまた、図7及び図8に見られ得るように、フィン45が設けられ得る。これらのフィン45は本体46に接続でき、本体46はその底端部にハウジング47を備えることができ、このハウジング47内に、一層特に図9に示すようにピン30がスナップ締めされ得る。

【0063】

フィン45はそれらの底部45aを介してベース部分10の傾斜面31に支持するようにして、ベース部分10に対するハンドル部分20の回転を減速できるようにしている。

【0064】

必要な場合には、ベース部分には、フィン45が通過する毎に使用者が感じることで、少なくとも一つの隆起部48を設けることができ、それにより、必要な場合に使用者はハンドル部分を所望の位置に容易に位置決めすることができる。ハンドル部分は僅かな隙間をもってベース部分に任意に取付けることができ、そのような位置決め用凹凸部を容易に通過させることができるようにしている。

【0065】

図10に示すように、ハンドル部分20はまた、ハウジング50を備えた単一部片で構成でき、ハウジング50はその一端にリム51を備え、このリム51にピン30がスナップ嵌めされ得る。ハウジング50は開口52を介して外部へ開いており、この開口52は必要な場合には、図示していない閉じ部材で閉じることができる。

【0066】

ピン30は割りピンとすることができ、そこにロック用栓54が係合され得る。

【0067】

ピン30はまた、その端部が図11に示すようにリベットのようスナップ嵌めされ得る。

【0068】

ハンドル部分20及びベース部分10には、図12に示すように、一方に目盛り55を設け、他方にインデックスマーク56を設けて、ベース部分10に対するハンドル部分20の角度方向を正確に確認できるようにしている。

【0069】

ハンドル部分20は図示した形態以外の形態に構成することができ、例として、図13には、少なくとも一つの凹状縁部57を持たせて軸線Yのまわりで円対称でないバンドル部分が示されている。

【0070】

容器は円筒状本体を備える以外の形態に構成でき、例として、図14には、上向きに拡がったほぼ切頭円錐状本体を備えた容器2が示されている。容器2はその頂端部にアドオン部品58を備えることができ、このアドオン部品58はねじ付き首部を備え、そして例えば発泡体で構成したワイパー部材を担持している。

【0071】

例として、図1～図4に示すアプリケーション装置は次のように用いら得る。

【0072】

使用者は、軸線Z、Yを実質的に一直線状に整列させて、図15に示すように、ステム4をほぼ水平にしてまつげに化粧を施すことができ、必要な場合には、ブラシを回転させてブラシの剛毛の間にまつげを容易に挟むようにし、物質をまつげに平滑に塗りつけるようにすることができる。

【0073】

そして、使用者は、軸線Z、Yの成す角度 β が最大となるようにベース部分に対してハンドル部分20を180°回転させて、ブラシの端部でまつげに特にまつげを分離させて化粧を施すことができる。従って、使用者は、図16に示すようにステム4をほぼ垂直にしてブラシを用いることができる。図16においてブラシの自由端5aはハンドル部分20と同じ側に位置されることが観察されるべきである。

【0074】

当然、本発明は、まつげ及び眉に化粧することに限定されず、本発明によるアプリケーションは特に図17に示すようにまぶたに化粧するのに用いることができ、又は図18及び図19に示すように唇に化粧するのに用いられ得る。図18に見られるように、軸線Yと軸線Zの成す角度は下唇に化粧し手いる間には最大にでき、また図19に見られるように、上唇に化粧し手いる間には上記角度は最小にできる。

【0075】

図20に示すように、ハンドル部分20は、ベース部分10と連続させずに、ハンドル部分20とベース部分10との間の接合部に肩部100を形成するようにして構成することができる。このような構成により、例えば、軸線Z、Rを傾斜面31で交叉させなくで

10

【0076】

アプリケーションエレメントはその表面にフロック加工することができる。アプリケーションエレメントはまた図21に示すようにくし、芯を振っていないブラシ又は毛管保持のアプリケーションでもよい。アプリケーションエレメントは気泡性及び（又は）エラストマー材料、特に発泡体で構成され得る。

【0077】

本装置は、必要ならば物質の温度を上昇させるようにマイクロ波オーブン内に入れることができるように構成され得る。

20

【0078】

本発明の上記の種々の実施の形態の全ての特徴を組み合わせることができる。

【0079】

ベース部分及びハンドル部分は、非円形断面、たとえば楕円形又は多面形でもよい。

【0080】

本明細書の記載において、特別ことわらない限り用語“備える”は“少なくとも一つ備える”と同義であると理解されるべきである。

【図面の簡単な説明】

【0081】

【図1】本発明の実施の形態を構成しているアプリケーション装置の概略斜視図。

30

【図2】ハンドル部分をベース部分と直線状に整列させた状態で図1の装置を示す正面図。

【図3】ハンドル部分をベース部分に対して半回転させた状態での図2と同様な図。

【図4】図3の装置の概略長手方向断面図。

【図5】変形実施の形態の概略軸方向部分断面図。

【図6】ベース部分にスナップ締めできるピンをハンドル部分に設ける可能性を示す図。

【図7】ベース部分にハンドル部分を装着する別の仕方を示す図5と同様な図。

【図8】図7の矢印VIII-VIIIに沿った断面図。

【図9】図7の矢印IX-IXに沿った拡大図。

【図10】ハンドル部分とベース部分との間のヒンジの他の実施の形態を示す概略部分長手方向断面図。

40

【図11】ハンドル部分とベース部分との間のヒンジの他の実施の形態を示す概略部分長手方向断面図。

【図12】アプリケーションの別の実施の形態を示す概略部分正面図。

【図13】アプリケーションの別の実施の形態を示す概略部分正面図。

【図14】本発明の別の実施の形態を構成している装置の正面図。

【図15】ハンドル部分をベース部分にほぼ直線状にして図1～図3のアプリケーションを用いてまつげに化粧する仕方を示す図。

【図16】ハンドル部分をベース部分に対して180°回転させてまつげに化粧する仕方を示す図。

50

【図 17】本発明による別の装置を用いてまぶたに化粧する仕方を示す図。

【図 18】及び

【図 19】本発明による別の装置を用いて唇に化粧する仕方を示す図。

【図 20】本発明の別の変形実施の形態においてハンドル部分とベース部分との接合を示す概略正面図。

【図 21】くしで構成したアプリケーターエレメントを示す図。

【図 22】本発明の変形実施の形態の概略部分長手方向断面図。

【符号の説明】

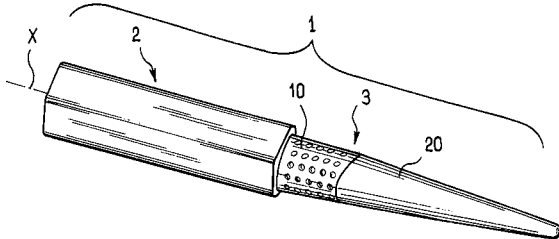
【0082】

1：装置	10
2：容器	
3：アプリケーター	
4：ステム	
4a：先端部	
4b：基端部	
5：ブラシ	
5a：ブラシ5の先端	
6：通常の振った芯	
7：挿入体	
8：首部	20
9：ワイパー部材	
9a：ワイパー部材9の一端	
10：ベース部分	
20：ハンドル部分	
10a：凹凸部分	
31：ベース部分10の傾斜面	
30：ピン	
33：円形開口	
34：挿入体	
37：タブ	30
38：挿入体の凹凸部分	
39：リム	
40：割りピン	
42：ベース部分10の円形開口	
45：フィン	
45a：底部	
46：本体	
47：ハウジング	
48：隆起部	
50：ハウジング	40
51：リム	
52：開口	
54：ロック用栓	
55：目盛り	
56：インデックスマーク	
57：凹状縁部	
58：アドオン部品	
100：肩部	
X：長手方向軸線	
Z：ベース部分の軸線	50

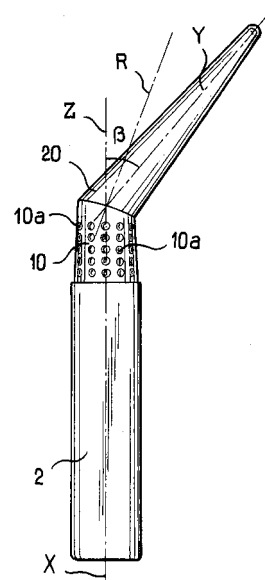
R：回転軸線

Y：ハンドル部分 20 の長手方向軸線

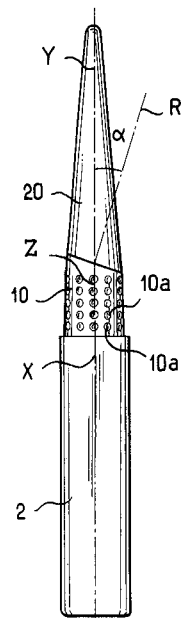
【図 1】



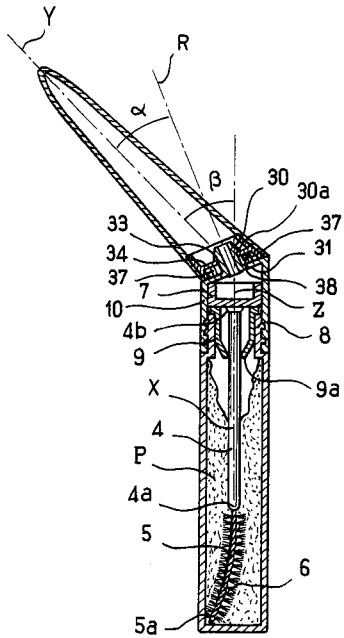
【図 3】



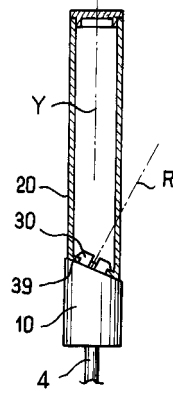
【図 2】



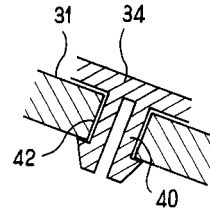
【図 4】



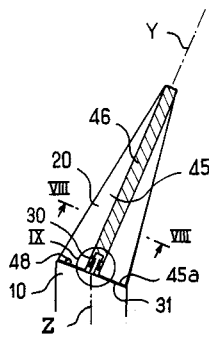
【図 5】



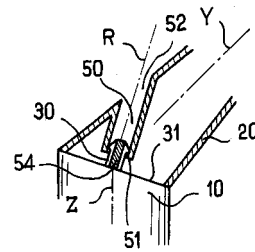
【図 6】



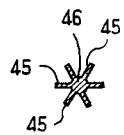
【図 7】



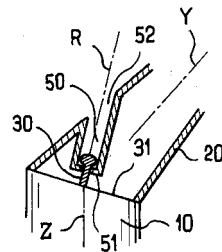
【図 10】



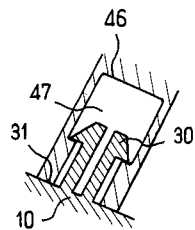
【図 8】



【図 11】



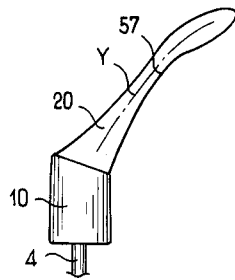
【図 9】



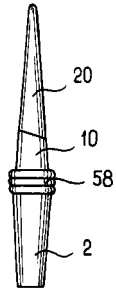
【図 12】



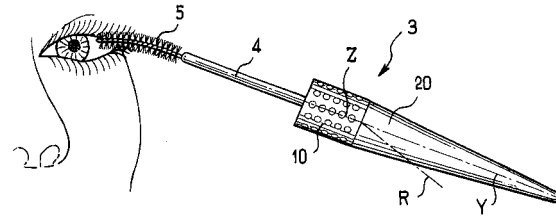
【図 13】



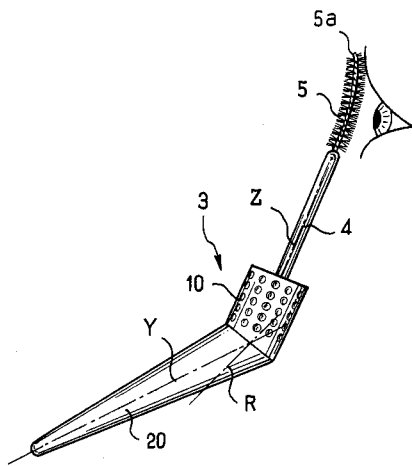
【図 14】



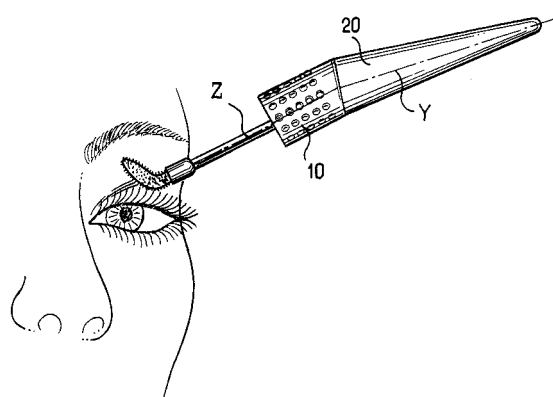
【図 15】



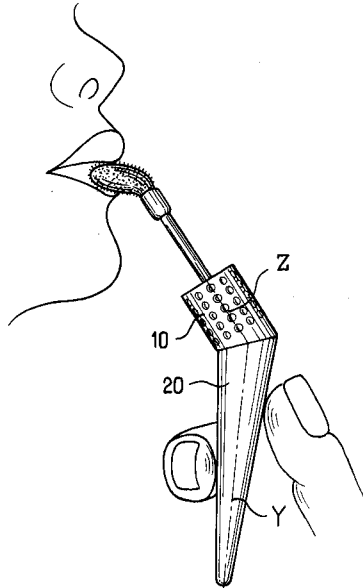
【図 16】



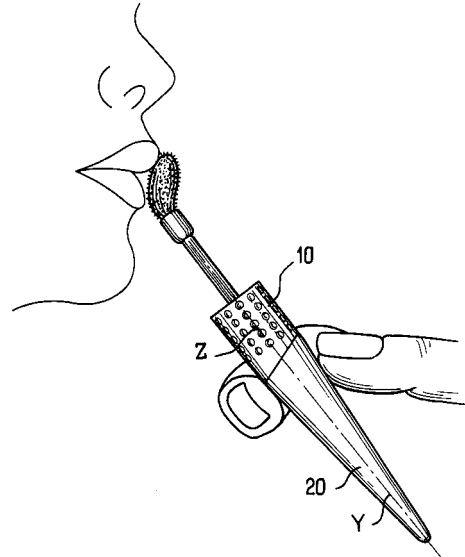
【図 17】



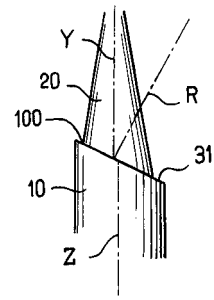
【図 18】



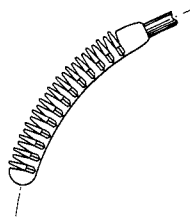
【図 19】



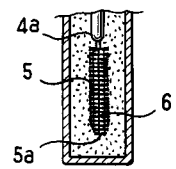
【図 20】



【図 21】



【図 22】



フロントページの続き

- (56)参考文献 特開平11-222274 (JP, A)
特開2001-161434 (JP, A)
実開昭60-113711 (JP, U)
実開昭61-161231 (JP, U)
実開昭60-061165 (JP, U)
米国特許出願公開第2002/0039513 (US, A1)

- (58)調査した分野(Int.Cl., DB名)
A45D 34/04